

第369回: 今秋注目の人物

今秋、5年に一度の中共全国大会、中国流で言えば、「中国共産党第19回全国代表大会」が開催される。大雑把な人数で言えば、そこで200名の中央委員と150名の中央委員候補が選出され、中央委員の互選により、25名の中央政治局委員が選ばれ、そのなかから俗にチャイナ・セブン、チャイナ・ナインと呼ばれる最高指導部の政治局常務委員が5～9名程度選出される。

党内では、これまで江沢民元主席が築き上げた上海閥(既得権享受派)と、共産党の伝統を受け継ぐ党内テクノクラート集団(共青团派)の勢力が拮抗してきた。

その中に割って入った新興勢力の習近平氏は、子飼いの集団をつくろうと、この5年間心血を注いできた。勝負は蓋を開けてみないと分からないが、以下は習近平氏に近いと噂される政治家と、その接点を探った一覧表。習氏が彼らの昇進、抜擢を図っているのは間違いない。

表の右側(黄色)が習近平氏の略歴である。副首相の長男として、当時北平と呼ばれていた北京市近郊で生まれたから「近平」と命名された習近平氏。党政府高官の子息として恵まれた環境で育ったが、彼が9歳のとき、父親が権力闘争に巻き込まれて失脚し、その後の文化大革命の嵐のなか、彼は中学もろくに卒業させてもらえずに陝西省に下放され、黄土高原の地で辛酸を嘗める。

76年に文革がようやく終了し、大学を卒業した同氏は復活した父親の手配で、国防相秘書官に抜擢され、そこから彼の出世街道が始まる。

注目の要人(除・軍人)

氏名	生年	党内	現職	習氏と接点	習近平略歴
劉鶴	52/01	○	発改委・副主任	北京	53/06 北京にて出生
何立峰	55/02	△	発改委・主任	福建	53~75 北京・陝西省
蔡奇	55/12	...	北京市長	福建・浙江	75~79 清華大学
夏宝龍	52/12	○	浙江省党書記	浙江	79 国防相秘書官
応勇	57/11	...	上海市長	浙江・上海	82 河北省正定県党書記
巴音朝魯	55/10	○	吉林省党書記	浙江	85 福建省副市長⇒省長△
李強	59/07	△	江蘇省党書記	浙江	02 浙江省 党書記 ○
陳敏爾	60/09	○	貴州省党書記	浙江	07 上海市党書記 ◎
黄坤明	56/11	△	宣伝部常務副部長	福建・浙江	07 党政治局常務委員
丁薛祥	62/09	△	総書記弁公室主任	上海	

(注)①:◎=政治局委員 ○=中央委員 △=候補

その後、彼は北京の隣の河北省・正定県に村長として転出し、爾後、福建省、浙江省、上海市を經由して政権の座に就いた。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

彼の交遊録を古い順に並べると、少年時代に劉鶴と知り合い、村長時代に栗戦書(政治局委員)、福建省では何立峰、浙江省では夏宝龍とパイプができたといった感じである。失脚していま北京の牢屋で暮らしている薄熙来(前政治局委員・重慶市書記)は北京時代、習氏にとって兄貴分の存在であった。

位人心を極めた権力者の下に、人々が擦り寄って来るのは当たり前のことであり、むしろ無名の政治家であったところに親しい関係となった友人や部下を抜擢したいと習氏が考えるのは当然のことだろう。

その代表が、いま中央弁公庁主任として政権の大番頭を勤める栗戦書。河北省時代に隣村の村長同士で友情を結んだ彼らの絆が強いのは当然だ。習近平の党中央総書記がほぼ確定したとき、彼は中央委員候補として貴州省書記でくすぶっていた栗戦書を「是非貫い」をかけて中央に呼び寄せた。

弁公庁主任と云えば主席の秘書・護衛・健康管理・日程調整等の極秘事項を取り仕切る責任者であり、習氏は暗殺リスクを抱えた自分の命を栗戦書に預けたことを意味する。栗戦書が今秋党大会で最高指導部入りするのは99%間違いないことである。

注目すべきは、まだ中央委員にもなっていない蔡奇・北京市長と、応勇・上海市長だ。市長は書記に次ぐ市の No2 を意味するが、北京と上海は別格官幣社。北京と上海の書記は政治局委員が勤める慣例なので、No2 がヒラでは格好がつかない。両氏が中央委員候補をすっ飛ばして中央委員に就任するのは確実だ。

現役省書記である夏宝龍(浙江省)、巴音朝魯(吉林省)、李強(江蘇省)、陳敏爾(貴州省)たちは政治局委員の有力候補。但し吉林省や貴州省では「貫目」が足りないのも、いまのポストのまま政治入りはない。北京市、上海市、重慶市、天津市、広東省等のトップ連中が、昇格や引退でポストを離れたタイミングで後任にすべり込めれば当確だ。

それにしても、中国人の名前を覚えるのは骨が折れる。中国やアメリカの専門家とも連絡を取る関係で「しゅうきんぺい」、「シージンピン」のように二通りの名前を覚える必要がある。誰が聞いているか分からない電話で生々しい単語を電波に乗せたくないのも、ときに「符丁」で喋る必要がある。

劉鶴(りゅうかく)、夏宝龍(かほうりゅう)のように日本語読みでスンナリ耳に入る人名もあるが、いま最も注目されている習さんの側近・陳敏爾さんのような名前は読み難い。強引に音読みすると「ちんびんじ」だが、どうもピンとこない。さる専門家が陳敏爾を「チンパンジー」と呼んでいるのも責められないような気がする。顔まで似ているし。でも、今秋彼が昇格したら、そんな失礼な呼称はやめるべきだろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年3月29日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

